

強く 正しく 優しく

平成 29 年 7 月 20 日

立花中だより

校長 尾知山光郎

「強く生き、正しく考え、優しく関わる立中生」（「めざす生徒像」）に近づけるように行う様々な教育活動のうち、6月から7月にかけて行った一部を紹介します。

安全な生活ができる危険回避能力を身に付けるために

交通安全に関わる教育活動を行います。日々の生活に生命や身体への危険が潜んでいることを知ること、特に交通事故の危険を知ること、正しくルールを憶えること、危険回避能力を身に付けることが、夢や目標を叶え、幸福を追求する人生を送るために必要です。

中学生になって間もない時期の1年生に対する「自転車安全教室」（交通ルールの講習と自転車を実際に乗ってみる実習を組み合わせた「安全教室」）を実施しました。（当初の予定はGW明けでしたが、雨天で6月5日に延期しました）

また、全校生徒を対象に、6月28日に「スケアード・ストレイト」と呼ばれる「交通安全教室」を尼崎北警察署とJA共済のご協力の下に行いました。スタントマンの方々が危険な運転をする自転車が自動車にはねられる交通事故場面を再現するもので、人が乗った自転車がはねられたり、人形が自動車に追突される衝撃の強さを見せられたりするなど、事故につながる行動の危険を目の当たりにして学習できました。この「教室」の記事が翌日の毎日新聞朝刊、7月4日の神戸新聞朝刊に掲載されました。

いのちとところ、人としてお互いを大切にするために

専門家の話を3年生が聴きました。産婦人科医を講師に招いた「いのちとところの講演会」（6/30）と、尼崎市女性センター・トレピエのスタッフによる「デートDV防止セミナー」（7/12）を行いました。思春期に入った生徒が異性を気にしたり、誰かを好きになったりすることは自然なことですが、正しい知識がなかったり、性的な行動のリスクを気にしなかったりすることによる「望まない妊娠」を防ぐために、また、男女の関わり方においてお互いを大切にできるように、必要な知識を身に付けられた講演でした。「デートDV防止セミナー」では、寸劇での健康管理委員の熱演もあり、意欲的に聴き入って、将来の男女交際のあり方を考えることができました。

健康でたくましい身体を培うために

食に関する正しい知識を得る学び、バランスの取れた食生活が大切です。2年生は、6月から7月にかけて、食に関する教育の改善をめざす園田学園女子大学の木林研究室に協力し、栄養摂取状況（食生活）について調査に回答したり、結果の分析を受けて保護者や生徒がアンケートに回答したりしました。結果は各家庭に返され、食生活の改善に対する助言を得られます。

確かな学力を身に付けるために

様々な取組を計画・実行・評価し、改善を図ります。計画をまとめた「学力向上アクションプラン」は、「学力調査結果等から見た課題」「課題解決に向けた取組」「本年度の具体的な目標」「活用する（市教委の）支援内容」「家庭・地域との連携」「校種間連携」で構成されています。

「学校の取組」は「授業力向上への取組」「学習習慣定着に向けた取組」「その他の取組」で成り立っていますが、具体的な取組については、「加配教員の運用（少人数授業等）」「校内研修等指導力向上」「学習タイムや放課後学習等学習量の充実」「言語力向上や言語活動の充実」等、今後少しずつご紹介いたします。

学力を高めるための基盤として大切なのは、「基本的な生活習慣の確立」「人間関係の安定」「学級等の生活集団・社会への適応」「進路選択（高校等進学）への関心・意欲」があります。これらは、家庭（保護者やきょうだい等）との連携協力が必須です。地域の方々のご理解とご支援も必要なことが多々あります。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

スポーツを通して成長するために

6月18日から硬式テニスの県大会が、7月1日から17日まで尼崎市及び阪神地区での**中学校校総体育大会**が行われました。スポーツでは勝つことに価値があると考えがちですが、サッカー日本代表の本田選手はチームの移籍に際し、「成功することより成長することが大事」という内容の発言をしました。負けた後こそ成長のチャンスであり、その後の勝負の分かれ目ではないでしょうか。

硬式テニス部（県）阪神大会がなく県大会から。団体・個人とも県内強豪に当たり成長できた。

ソフトテニス部 個々が成長し、3年生1組が市内ベスト20で阪神大会に出場し、接戦を演じた。

男子バレーボール部（市）日新との接戦に競り勝つ力をつけたところを見せた。大庄北との敗者復活戦では第1セットを取り第2セットもリードして勝てそうな試合を逆転で落とし、悔しい敗退で成長。

女子バレーボール部（市）長身選手を擁する塚口と1回戦、接戦に持ち込めるまでの成長を見せた。

男子バスケットボール部（市）前半終了時13点差あったが一時は逆転できる粘り強さを見せた。

女子バスケットボール部（市）1回戦は成長を示して常陽に勝ち、県王者の中央との2回戦は、一進一退の試合を展開するまで健闘し、点差が開いてもあきらめることなく逃げずに戦い続けた。

サッカー部（市）第3シード小園と1回戦。立中は守備が良くなり1点勝負に持ち込む成長を見せた。

野球部（市）南武庫之荘との1回戦、先制されたが大崩れせず、1点差まで追い上げる粘りを見せた。

ソフトボール部（市）園田学園との合同チームで**準優勝!**（阪神）園田学園と協力して明るく戦った。

陸上競技部（阪神）小松原裕斗が3年男子100m、古田聡美(3年)が共通女子800m、松本カリン(3年)が共通女子円盤投で**県大会出場**。県大会出場を逃した選手も悔しい結果を受け止めて成長した。

水泳部（市）丸山大智(2年)男子平泳ぎ200m第2位、同100m第3位、岡本真優(3年)女子自由形100m第3位、男女総合で第4位と選手全員での成長を示した。（阪神）市外の選手との戦いを経験した。

器械体操（阪神）松岡隼大(3年)が鉄棒1位。松岡航大(1年)と平均台3位の橋本雛子(1年)が県出場。

終業式メッセージ（校長からの夏休みの宿題）

生命、人権、時間など、様々な「失ったら返ってこない大切なもの」は全て「いのち」だ。大切にしよう。4週間分成長し「めざす生徒像」に近づこう。力をつける再チャレンジ、ハイチャレンジを！